

木津川流域下水道雨天時浸入水対策実務者会議への講師派遣実施報告

京都府環境部水環境対策課主催の「木津川流域下水道雨天時浸入水対策実務者会議（第2回）」が、平成28年12月20日（火）に京津府流域下水道事務所で開催されました。京都府からの関水コン宛の講師派遣依頼は、昨年度につづき2度目になります。本年度は、木津川流域下水道における雨天時浸入水対策を議題として、この課題に取り組む実務者の参加による会議となりました。

会議では、木津川流域下水道の雨天時浸入水の現状と課題について京都府水環境対策課から説明があり、引き続き関水コンから「雨天時浸入水詳細調査の手法と実例」について説明をおこないました。その後、雨天時浸入水対策に取り組む関係2市からの事例報告がありました。

雨天時浸入水は、浸水被害や簡易放流の危険性の増加、処理量の増加による維持費の増大など、下水道事業の経営を圧迫しかねない要因になっており、計画的にかつ迅速に取り組むべき課題となっていることから、雨天時浸入水対策の体系と詳細調査の手法・実例にポイントを絞った説明とし、参加者の関心も高かったようです。

実務者会議には、関係7市町を含む24名が参加され、各々熱心に聴講、メモを取られていました。質疑応答では活発な議論がおこなわれ、雨天時浸入水対策に強い関心をもたれている様子でした。

関水コンでは、自治体職員向けの講習会や実務者会議に積極的に講師を派遣し、自治体職員の下水道計画設計に関する技術力向上に寄与していくとともに、コンサルタントの強みである豊富な実務経験をアピールしていくことが大切であると考えます。

最後になりましたが、この度、業務多忙の中、講師依頼を快く引き受けていただいた日本水工設計株式会社 山元茂様に感謝致します。

【当日のプログラム】

1. 開会（10:00）
2. 開催挨拶 京都府環境部水環境対策課
3. 「雨天時浸入水詳細調査の手法と実例について」 日本水工設計(株) 山元茂 氏
4. 「公共下水道における不明水調査実例紹介」 八幡市・城陽市
5. 質疑応答
6. 閉会（12:00）



雨天時浸入水詳細調査の手法と実例
日本水工設計（株）山元 茂氏



実務者会議風景